JAグループ兵庫　CO・OP 協同組合がよりよい社会を築きます

昭和24年4月7日　第三種郵便物承認　令和2年3月1日発行（毎月1回1日発行）通巻1361号

≫KYODO

協同

新時代をひらく協同
－持続可能な農業と地域社会のために－

3
2020
MARCH

特集

職場におけるコンプライアンスとハラスメント防止

～ハラスメントのない職場に向けて～

大会決議実践REPORT

JAあかしでは、3B体操教室をはじめとして、人々の健康と地域のつながりを育む活動に取り組んでいます。

≫詳細は裏表紙へ

協同 ©
令和2年3月1日発行　通巻1361号
昭和24年4月7日第三種郵便物承認
編集兼発行人
兵庫県農業協同組合中央会　専務理事　浜田　充
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1番地
☎078-333-5870 http://ja-grp-hyogo.ja-hyonet.jp/
制作協力 株式会社神戸新聞総合印刷
定価300円 購読料は賦課金に含まれています。

大会決議実践REPORT

～持続可能な農業と地域社会のために～

＼今月は／
JAあかし

第34回兵庫県JA大会（平成30年11月）では「新時代をひらく協同」をメインテーマとして、
JAグループ兵庫が今後取り組むべき事項を決議しました。
地域の実態に応じてこの大会決議を実践するJAの取り組みを、SDGsを交えて紹介します。

地域の人々に共感とつながりを生む JAあかしの協同活動

2カ月に1回開催する料理教室で楽しく調理

ふれあいフェスタでの農機試乗イベント

JAあかしは、健康増進活動を中心として、より多くの人々にJAを知ってもらうとともに、地域のつながりがさらに深まるように、取り組みを進めている。

平成28年からは、主に女性を対象に3B体操教室を定期的に実施している。3B体操とは、ボール・ベル・ベルター（3B）という専用の用具を使用して、音楽に合わせながら身体を動かす運動だ。どんな世代の人でも気軽に始めることができ、楽しみながら健康な体づくりができる。

3B体操教室は楽しく運動できるだけではなく、人と人とのつながりづくりにも一役買っている。参加資格や条件は特になく、参加しやすい料金を設定しているため、誰でも気軽に参加することができ、地域の人々の集いの場にもなっている。参加者は准組合員が多く、この教室に参加したことがきっかけで組合員になった人もいる。体操教室の日には、ホールに参加者の元気な声と笑顔があふれる。

また、食から組合員の健康を守ってほしいとの思いから料理教室も開いている。毎回、講師と相談しながら見た目が美しく健康的な料理のレシピを用意し、50～60代の女性に特に人気がある。最近では、参加者からの紹介で30代女性も参加し、世代を超えた交流の場となっている。

さらに、地域の人々の交流とJAのファンづくりを目的に、年1回、ふれあいフェスタを開催している。このフェスタでは来場者に喜んでもらうため、さまざまな模擬店の出店や子どもを対象にした農機の試乗体験を実施。役職員が協力して、農を中心にしたイベントの企画や運営を行っている。

JAでは今後も、地域の人々がつながりを深め、健康で生き生きと暮らし続けられるよう取り組んでいく。

SDGs（エスディージーズ）とは
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指して、2015年、国連で採択された。「17の目標」と「169のターゲット」で構成されており、実現のために、先進国、途上国、政府、企業など、全ての関係者による連携した行動が求められている。